全体イメージ図

■人生の終焉の場にふさわしい施設づくり
・故人の尊厳を守る格調ある佇まいとする。
・華美に飾るのではなく材料の質感で葬送の空間を表現する。

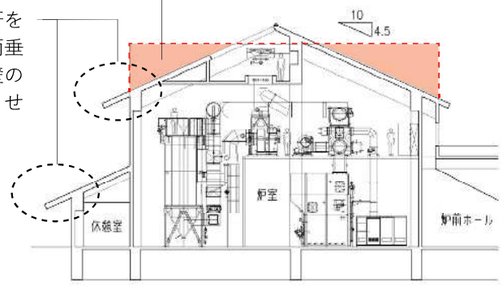
■周辺環境に配慮した施設づくり
・緑豊かな周辺環境との調和を図り、勾配屋根や自然素材により建物を構成する。
・勾配屋根によりクリーンセンターと見え方の違いを差別化する。

■管理運営のしやすい施設づくり
・費用対効果に配慮した材料を選定する。
・経年変化後も維持管理のしやすい外壁材とする。

■勾配屋根による合理化
・屋根の棟同士が重ならないように配置し、シンプルな屋根の構成により雨漏りしない計画とする。
・炉室で必要となる室内高さは炉の高さによって決まります。一番高いところを基準とした場合、下図の赤の部分は不要な部分となるため、勾配屋根におり躯体面積を減らすことでコスト縮減を図る。
・軒を出すことで、外壁の雨垂による汚れを防止し、維持管理に配慮する。
・軒樋は出入口部分のみ設置し、その他は維持管理の負担を軽減するため、軒樋を設けない計画とする。落ち葉等の清掃負担を軽減する。

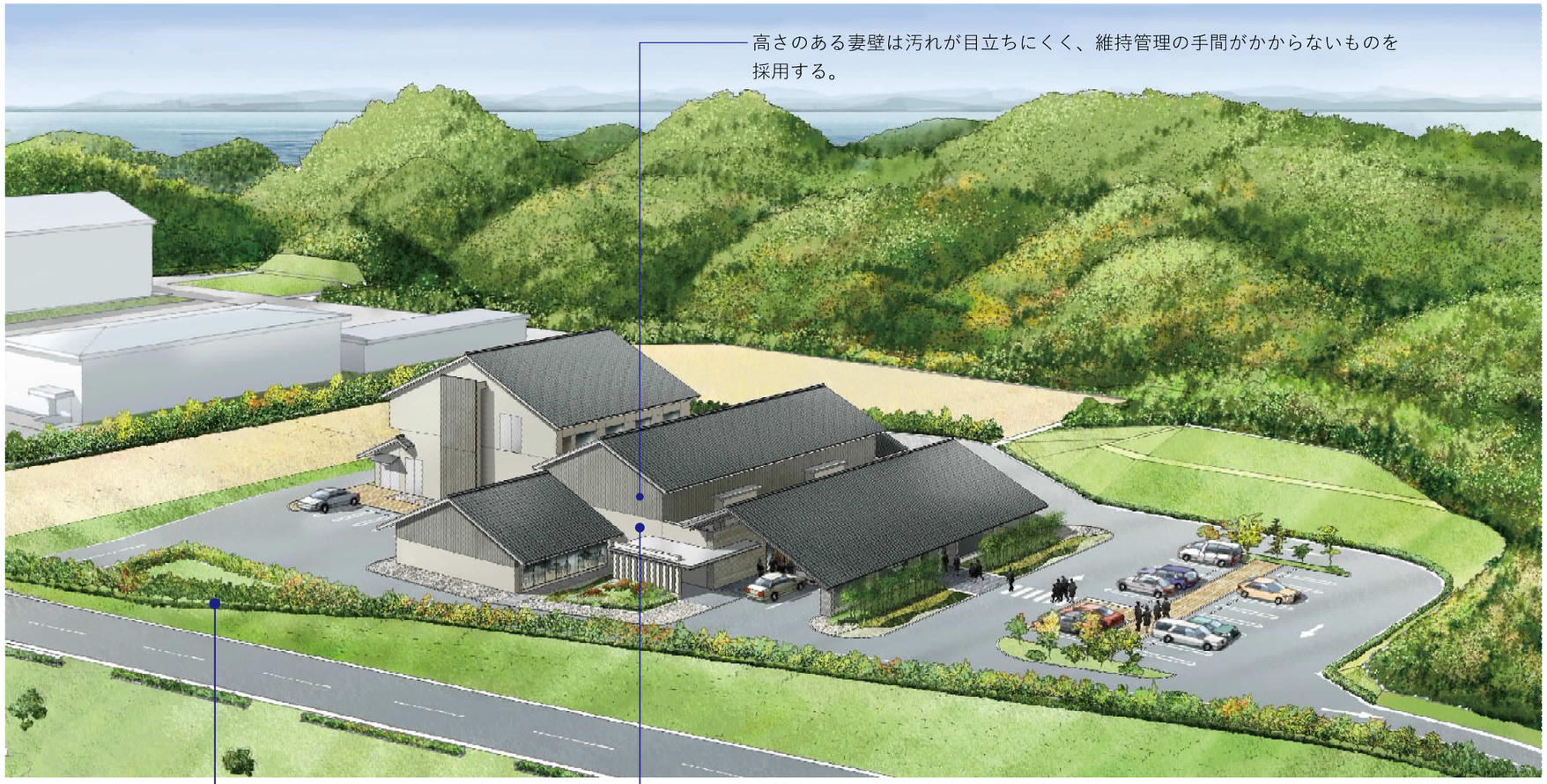
フラット屋根に比べ躯体面積を軽減

外壁面より軒を出すことで雨垂れによる外壁の汚れを軽減させます。



■クリーンセンターを見せない
・建物形状によりアプローチ、駐車場から奥にあるクリーンセンターを見せない計画とする。

■クリーンセンターとの差別化
・クリーンセンターとは異なる屋根形状とすることで差別化を図り、最後のお別れの場にふさわしいデザインとする。



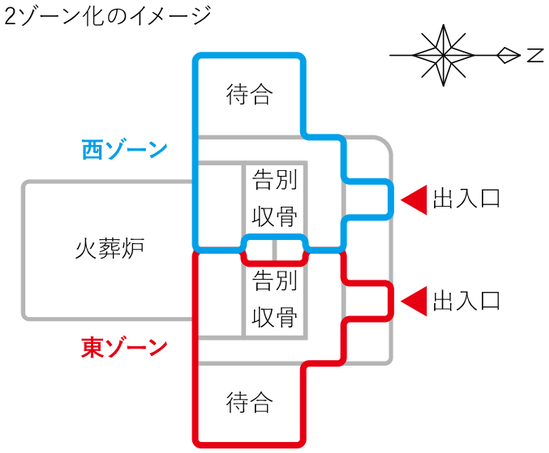
**※この図面は、知多南部衛生組合火葬場基本設計書を抜粋したものです。
なお、実施設計により変更が生じる場合がございます。**

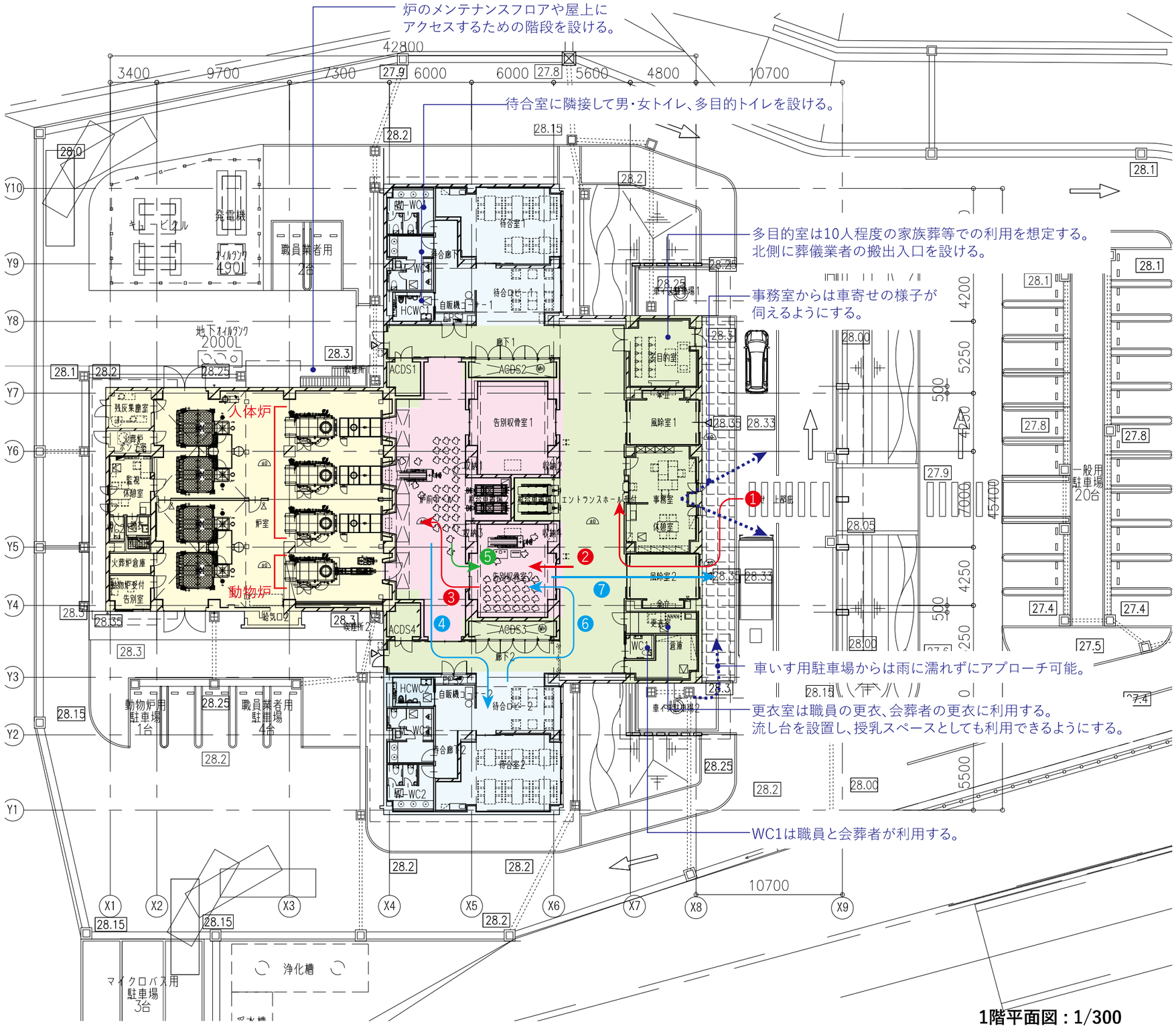
平面計画図

■建物内の 2 ゾーン化

・場内を東西に 2 つのゾーンに分け、各ゾーンに出入口を設ける。
・各ゾーンで入場から告別、待合、収骨、退場を完結させることで、他ゾーンの葬家と交錯しない計画とする。
・火葬件数が少ない場合は、片側のみでの運営を可能とし、維持費や運営費が抑えられる計画とする。

2ゾーン化のイメージ





※この図面は、知多南部衛生組合火葬場基本設計書を抜粋したものです。
なお、実施設計により変更が生じる場合がございます。